

# 住宅政策の基本方針等について

## 【住宅政策の基本方針等の枠組に関する主なご意見】

### ○基本方針について

- ・ 長期ビジョンも踏まえ、人口減少等に対する住宅政策の基本方針を示すべき。
- ・ 人口減少の中で、自立できるまちづくり、持続性を確保できるような住宅政策を打ち出すべき。
- ・ 豊かさを実現するためには、低所得者への支援を考えることが重要であり、基本方針には、住生活の基盤の再構築と安定といった視点が重要である。

### ○目標・施策について

- ・ 現在の住宅マスタープランに掲げる10の目標は相互に関係が深く、10の目標の枠にとらわれず、新たな目標設定や施策体系を示すべき。
- ・ 都民の住生活に対するニーズは多様化している中、都民一人一人が自分たちは将来どのような住生活を送ることができるのか、イメージできる具体的な目標とするべき。
- ・ 住宅政策におけるターゲットを明確にし、状況に応じた施策を講ずるべき。
- ・ 住宅ストックの質の向上、住宅セーフティネット、また、まちづくりの観点からの団地再生やマンション管理・再生、木造住宅密集地域の安全性向上は重要であり、目標として明確にすべき。

### ○着眼点について

- ・ 施策展開にあたっての着眼点を整理することが必要である。
- ・ 基礎的自治体が住宅政策に果たす役割は極めて大きく、地域の身近な問題として、区市町村が積極的に取り組むことが重要である。
- ・ 豊かな住生活を実現するためには、居住者である住み手が主体的に、地域や住まいを良くしていく意識をもつことが必要であり、このことを着眼点に記載すべき。